

## スチュワードシップ活動報告（2023年度）

当社は、2014年8月、「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》の趣旨に賛同し受入れを表明しており、日本版スチュワードシップ・コードに関する方針を定めました。当該方針に則り実施した2023年度（2023年7月から2024年6月末）における議決権行使結果と対話活動の結果、およびスチュワードシップ責任を果たすために行った活動の評価をお知らせします。

なお、当社では国内上場株式および国内債券の運用を運用会社へ委託しています。

### 1. 議決権行使結果

当社の保有する国内上場株式について、2023年7月から2024年6月末までに開催された株主総会において下記のとおり議決権を行使しましたのでお知らせ致します。

#### (1) 会社提出議案に対する賛成・反対・棄権・白紙委任の議案件数

＜会社提出議案＞

議案		件数	賛成	反対	棄権	白紙委任
会社機関に関する議案	取締役の選解任 <sup>※</sup>	723	703	20	-	-
	監査役の選解任 <sup>※</sup>	55	53	2	-	-
	会計監査人の選解任	-	-	-	-	-
役員報酬に関する議案	役員報酬	33	33	-	-	-
	退任役員の退職慰労金の支給	-	-	-	-	-
資本政策に関する議案	剰余金処分案等	51	51	-	-	-
	組織再編関連	-	-	-	-	-
	買収防衛策の導入・更新・廃止	1	-	1	-	-
	その他資本政策に関する議案	-	-	-	-	-
定款に関する議案		12	12	-	-	-
その他の議案		-	-	-	-	-
<b>合計</b>		<b>875</b>	<b>852</b>	<b>23</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

#### (2) 株主提出議案に対する賛成・反対・棄権・白紙委任の議案件数

＜株主提出議案＞

	件数	賛成	反対	棄権	白紙委任
<b>合計</b>	13	8	5	-	-

取締役選任、監査役選任の複数候補者の選任においては、個別に賛成反対を集計しています。

#### (3) 個別の投資先企業および議案ごとの議決権行使結果

別紙の議決権行使結果の個別開示（2023年7月-2024年6月）をご参照ください。

#### (4) 主な反対事例

- 取締役選任議案において、資本効率性が低く（過去5期平均の自己資本利益率（ROE）が5%を下回る）かつ改善傾向（直近の会計年度のROEが5%以下）にないことから、この責任を問い経営トップの再任に反対した。
- 取締役選任議案において、日本においてもジェンダー・ダイバーシティが重要な課題となる中、女性取締役が1名も選任されておらず（本総会終了後時点）、取締役会運営における多様性の確保に懸念があることから、この点に関して経営トップの責任を問い、取締役の再任に反対した。
- 取締役選任議案において、長年にわたる事前価格調整（カルテル）に関わる不正行為が実施されていたことが確認されていることや、監督官庁より独禁法違反について具体的なルール作りを怠っていたことが指摘されている点などから、最終的な責任を負うべきと考え、経営トップの再任に反対した。

## 2. 対話活動の結果

当社は投資先企業の企業価値の増大、持続的成長を促すための対話を行い、中長期的なりターン拡大につなげて、保険契約者に対する確実な保険金等のお支払いを支えていく方針です。2023年度においては、主に以下の観点から、運用委託先を通じて投資先企業（投資候補を含む）と対話を実施しました。

### <国内株式>

対話の種類	件数
状況把握に関する対話	263
成長戦略に関する対話	261
資本政策に関する対話	259
事業変化対応に関する対話	262
ESGに関する対話	241
総対話件数	1,286

### <国内債券>

対話の種類	件数
状況把握に関する対話	252
成長戦略に関する対話	247
資本政策に関する対話	250
事業変化対応に関する対話	248
ESGに関する対話	102
総対話件数	1,099

※対話は面談、オンラインを通じて実施。また総対話数は一度で複数種類の対話を含む。

### <主な対話内容>

- 企業の事業戦略について

多数の事業セグメントを有している対話先に対し、投資家は公表している会社全体の成長戦略の内容を評価しにくいという考えから、全社ベースで掲げる自己資本利益率（ROE）の向上を達成するために、事業セグメントに落とし込んだ成長戦略及び収益向上策を明確に示すことが投資家の理解を深めることに繋がると提案した。

➤ 企業の資本政策について

持続的成長を達成するための事業戦略として低収益事業の構造改革を進めている対話先に対し、投資家が構造改革の進捗状況を把握できるよう、スケジュールや中間での重要業績評価指標（KPI）に関する開示の強化を提案した。

➤ 社会、人的資本について

ビジネスモデルの転換を図る対話先と人的資本への投資に関する議論を実施。同対話先が実施している人的資本投資に関する取り組み内容や成果を具体的に開示することを要望した。

➤ 脱炭素社会に向けた取り組みについて

石炭火力発電所への投融資方針を含めた、脱炭素関連の取り組みについて意見交換を実施。石炭火力発電への投融資方針を改定し、石炭火力発電所の早期廃止を用途とする投融資を通じ脱炭素社会への移行を支援していく方針を確認した。

➤ 温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みについて

温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みの進捗を確認する目的で対話を実施。2050年のカーボン・ニュートラル達成に向けて同業他社に遜色ない取り組みを進めていることを確認した。

➤ 適切なガバナンス体制への改善取り組みについて

対話先に対し、経営管理体制に関する事実確認及び改善計画の具体的な施策に関するヒアリングのため面談を実施した。

### 3. スチュワードシップ責任を果たすために行った活動の評価

当社は国内上場株式および国内債券の運用を外部に運用委託しています。

委託先のスチュワードシップ活動について、投資先企業との対話および議決権行使を通じて、投資先企業の企業価値の増大、持続的成長を促し、最終的に当社のお客様の利益となるよう活動したことを評価しています。

なお、投資信託による運用を行う場合には、投資信託の運用会社が日本版スチュワードシップ・コードを受け入れていることを確認しております。当社が投資を行っている投資信託の運用会社については、以下のリンクをご参照ください。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

<https://www.smtam.jp/company/policy/stewardship/>

野村アセットマネジメント株式会社

[http://www.nomura-am.co.jp/special/esg/responsibility\\_investment/stewardship.html](http://www.nomura-am.co.jp/special/esg/responsibility_investment/stewardship.html)

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

[https://www.am.mufg.jp/investment\\_policy/responsible\\_stewardshipcode.html](https://www.am.mufg.jp/investment_policy/responsible_stewardshipcode.html)

以上